

2. 指標設定

成果指標	指標名	公衆衛生の維持	目標年度	指標の設定理由			
	数値	—		—	快適な生活空間に必要な環境を整える		
活動指標	指標	a	補助実施数	b	狂犬病注射頭数	c	d
	数値	目標	—	目標	—	目標	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
公衆衛生の維持		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 補助実施数	件	6 件	9 件	3 件
b 狂犬病注射頭数	頭	2,248 頭	2,177 頭	2,047 頭
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
市民の要望や法令に基づく対応であるため、精査しながら処理する。
対応（改善点等）
法令に基づいた適切な処理を行うことや、補助金交付基準に沿った交付認定を行う。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
うち経常経費		14,893	787,355	9,253	10,591
		8,506	5,377	6,825	6,591
財源内訳	国費				
	県費	1,507	90	90	90
	市債				
	その他	2,207	774,835	1,640	1,665
	一般財源	11,179	12,430	7,523	8,836
うち経常		4,503	3,552	5,095	4,836
事業費に係る人件費		16,746	15,256	11,089	12,488
事業費に係る人役		3.90	3.50	2.50	2.80

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
公衆衛生の維持に努める。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性は高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目標達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、補助金交付要綱を遵守し適正及び効果的な事業実施を行うこと。

2. 指標設定

成果指標	指標名	火葬業務の実施	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			火葬業務を滞りなく行う必要があるため			
活動指標	指標	a	火葬業務数	b		c		d
	数値	目標	—	目標		目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
火葬業務の実施		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 火葬業務数	件	783 件	788 件	872 件
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
新施設供用開始後、順調に稼働している。今後、受委託等については検討を行う必要がある
対応（改善点等）
今後の実績等をみながら検討する

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
		38,083	113,798	911,294	40,690
うち経常経費		25,172	23,592	24,852	40,690
財源内訳	国費				
	県費				
	市債	12,100	74,400	826,200	
	その他	11,890	13,068	15,428	22,580
	一般財源	14,093	26,330	69,666	18,110
うち経常		13,282	11,611	10,599	18,110
事業費に係る人件費		3,006	4,795	4,879	3,122
事業費に係る人役		0.70	1.10	1.10	0.70

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正な維持管理に努める

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性は高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	新施設供用開始後の業務委託について検証を進め、適切な運営を行うこと。

2. 指標設定

成果指標	指標名	一般廃棄物適正処理	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			適切な住環境を保全するため				
活動指標	指標	a	回収回数	b		c		d	
	数値	目標	随時	目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
一般廃棄物適正処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a	回収回数	41 回	43 回	41 回
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
犬猫の死骸から野生動物の死骸まで多様化してきている。
対応（改善点等）
市民からの通報などにより、迅速な処置対応が必要である。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
		89	58	47	84
うち経常経費		89	58	47	84
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	11	20	8	16
	一般財源	78	38	39	68
うち経常		78	38	39	68
事業費に係る人件費		859	872	887	1,338
事業費に係る人役		0.20	0.20	0.20	0.30

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を遂行するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適正処理に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	循環型社会の形成	目標年度	—	指標の設定理由			
	数値	—			里山・田園・水辺を守り育て、ごみを削減するため			
活動指標	指標	a	看板設置数	b	補助実施数	c		d
	数値	目標	随時	目標	90件	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
循環型社会の形成		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 看板設置数	件	38 件	55 件	48 件
		—	—	—
b 補助実施数	件	94 件	69 件	91 件
		89.5 %	65.7 %	101.1 %
c		—	—	—
		—	—	—
d		—	—	—
		—	—	—

4. 課題と対応

課題
ごみの不法投棄が多く発生している。また、家庭ごみの減量化等を図る必要がある。
対応（改善点等）
ごみの不法投棄防止の啓発活動として、撤去事業、広報など活動を実施する。また、家庭ごみの減量化を図る。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
		2,323	1,080	1,094	970
うち経常経費		2,066	933	975	727
財源内訳	国費				
	県費	128	73	59	121
	市債				
	その他	225	160	227	200
	一般財源	1,970	847	808	649
うち経常		1,841	773	748	406
事業費に係る人件費		5,153	5,231	5,323	5,352
事業費に係る人役		1.20	1.20	1.20	1.20

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正処理を推進するため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、環境保全に資するための啓発活動を含め、効果的、効率的な事業実施に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	ごみ処理の適正化、ごみの減量化	目標年度	H27	指標の設定理由			
	数値	186kg/人・年			総合計画／後期基本計画において、基本施策(2-2-1)の目標としているため			
活動指標	指標	a	維持管理の適正化	b	ごみ分別の推進	c		d
	数値	目標	経常経費の削減	目標	市民の意識啓発を図る	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
ごみ処理の適正化、ごみの減量化	kg	214.7 kg	209.4 kg	198.0 kg
		86.0 %	88.8 %	93.9 %

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 維持管理の適正化	千円	342,730 千円	308,672 千円	373,650 千円
b ごみ分別の推進	回	12 回	15 回	17 回
		100.0 %	100.0 %	100.0 %
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
人口は減少しているものごみの排出量は横ばいである。可燃ごみ中に含まれる紙類の割合が約40%であることから分別を強化し、ごみの焼却量を削減する必要がある。
対応（改善点等）
循環型社会の形成推進めをざし、ごみの分別徹底を推進するとともに、リサイクル可能な紙類の分別強化を図る。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
うち経常経費		342,730	308,672	373,650	485,745
うち経常経費		300,289	306,447	320,357	340,031
財源内訳	国費	2,994			
	県費				
	市債				
	その他	153,494	147,876	159,332	174,396
	一般財源	186,242	160,796	214,318	311,349
うち経常		152,194	158,717	170,339	185,195
事業費に係る人件費		70,847	69,305	72,743	73,143
事業費に係る人役		16.50	15.90	16.40	16.40

6. H28年度予算の方向性

方向性
減額
理由
基幹的設備改良工事が完了して、投資的経費の減額及び、近隣自治体へのごみ処理応援要請の必要がなくなったことによるもの

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切な処理とゴミの減量化に努め、分別強化を図ることと併せて将来的な運用に向けた検討を開始すること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	適正な処理	目標年度	H27	指標の設定理由				
	数値	—			施設の性能を維持し、経費削減等を考えれば機器の変更が重要である				
活動指標	指標	a	施設維持管理の適正化	b	施設の基幹改良	c	外部委託の検討	d	
	数値	目標	経費の削減(A重油)	目標	処理方式及び機器設備の改良・変更	目標	機器整備の委託検討	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
適正な処理		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24		H25		H26	
a	施設維持管理の適正化	リットル	182,000	リットル	182,000	リットル	196,000
			—		—		—
b	施設の基幹改良		—		—		—
			—		—		—
c	外部委託の検討		—		—		—
			—		—		—
d			—		—		—
			—		—		—

4. 課題と対応

課題
現在の膜分離装置は寿命が短く業者での交換しか出来ない為、膜交換費用が高い。
対応（改善点等）
回転平膜方式から寿命が長く職員でも交換ができるチューブラ膜方式への変更を検討。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
		143,824	140,149	142,190	144,329
うち経常経費		143,824	140,149	142,190	144,329
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他	24,843	24,657	25,301	21,924
	一般財源	118,981	115,492	116,889	122,405
うち経常		118,981	115,492	116,889	122,405
事業費に係る人件費		19,322	19,615	19,960	20,070
事業費に係る人役		4.50	4.50	4.50	4.50

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適正な処理の推進、寿命の長い膜への変更を検討

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 一般廃棄物の処理施設である為必要である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	2 民間委託導入など検討の余地がある。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	2 成果は上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	長期にわたり利用する施設である為、施設の性能を維持することに必要な整備を、適切な手段、費用で実施することにより、トータル的な経費削減につなげること。

2. 指標設定

成果指標	指標名	基幹的設備改良		目標年度	指標の設定理由				
	数値	工事の進捗率			H27	総合計画／後期基本計画／実施計画書／施策目標(2-2-1)としているため			
活動指標	指標	a	低下した性能の回復	b	ダイオキシン類削減対策	c	基幹改良CO2削減率	d	工程会議の回数
	数値	目標	50t/日(25t/16h×2炉)	目標	排ガス中のDXN 1ng-TEQm ³ N以下	目標	5%以上	目標	月2回

3. 実績(上段・実績/下段・達成率)

成果指標名	単位	H24	H25	H26
基幹的設備改良		-	-	-
		-	-	-

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 低下した性能の回復		-	-	-
b ダイオキシン類削減対策		-	-	-
c 基幹改良CO2削減率		-	-	-
d 工程会議の回数		-	-	-

4. 課題と対応

課題
ごみ質の多様化と設備の老朽化による焼却処理能力の低下が懸念されている。
対応(改善点等)
焼却設備の基幹的設備改良修理を行い、性能水準の回復とCO ₂ の排出量削減を図る。

5. 事業費・・・H24～H26(決算額)、H27(予算現額)

決算額(千円)		H24	H25	H26	H27
		0	4,589	670,613	1,024,597
うち経常経費					
財源内訳	国費		980	221,083	267,356
	県費				
	市債			426,400	719,300
	その他		1,438	2,571	5,664
	一般財源		2,171	20,559	32,277
うち経常					
事業費に係る人件費		0	2,615	3,548	3,568
事業費に係る人役		0.00	0.60	0.80	0.80

6. H28年度予算の方向性

方向性
予算措置なし
理由
H27年度で基幹的設備改良工事が完了するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法令等により、市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている

8. 内部評価委員会評価(委員会評価)

事業の方向性	評価内容
廃止	事業終了のため。

予算	款	項	目	決算書	
	—	—	—	526	頁

目名
—

事業名称
太陽光発電事業特別会計事業

1. 概要

目的	再生可能エネルギー、新エネルギーを推進する	対象	市民
事業概要	○豊後大野市太陽光発電所5ヶ所の維持管理業務 ・インターネット回線使用によるシステム監視 ・火災保険加入 ・機械警備委託 ・草刈委託 ・電気設備保安業務委託		

臨/経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		予算現額 (千円)	決算額 (千円)	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	太陽光発電所建設事業	警備、草刈、保安管理	委託料	202,635	186,395			186,395		3
計				202,635	186,395	0	0	186,395	0	

2. 指標設定

成果指標	指標名	再生可能エネルギーの推進	目標年度	—	指標の設定理由				
	数値	—			環境負荷の少ないライフスタイルや事業活動を進めるため				
活動指標	指標	a	維持管理回数	b		c		d	
	数値	目標	随時	目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H24	H25	H26
再生可能エネルギーの推進		—	—	—
		—	—	—

活動指標名	単位	H24	H25	H26
a 維持管理回数	回	—	—	30 回
b		—	—	—
c		—	—	—
d		—	—	—

4. 課題と対応

課題
機械設備であるため、十分な維持管理が必要。
対応（改善点等）
状況に応じた適切な維持管理を行う。

5. 事業費・・・H24～H26（決算額）、H27（予算現額）

決算額（千円）		H24	H25	H26	H27
		0	688,461	186,395	100,004
うち経常経費					
財源内訳	国費				
	県費				
	市債				
	その他			186,395	100,004
	一般財源		688,461		
うち経常					
事業費に係る人件費		—	—	—	—
事業費に係る人役		—	—	—	—

6. H28年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
適切な維持管理を行うため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 市が実施主体となっている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために必要な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切な管理運営に努めること。